

2025年3月28日

March 28, 2025

学生・教職員各位

To all students and faculty staffs

藤田医科大学 精神・神経病態解明センター  
センター長 貝淵弘三

令和7年度  
**第3回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー 開催通知**  
**Information on FUJITA Brain Science Seminar 2025**

◆ 演者：水島 昇 先生（東京大学大学院医学系研究科 分子生物学分野）  
「オートファジーの分子メカニズムと生理的意義」

Noboru Mizushima (The University of Tokyo, Graduate School of Medicine)  
- Molecular mechanisms and physiological roles of autophagy -

**日時: 2025年6月5日(木) 17:00 - 18:00**  
Time and Date: Thursday, June 5, 2025, 17:00-18:00

**場所:オンライン (Zoom) 開催**  
This seminar will be held online

**受講対象者:** 学内外にかかわらず、どなたでもご参加いただけますが、生命科学について大学学部生程度以上の知識をお持ちであることが望ましいです。

**参加方法: 下記サイトより必ず事前登録してください。**

このミーティングに事前登録する：

[https://us02web.zoom.us/meeting/register/iqjp8biiQZ6mbg\\_ifkqw\\_w](https://us02web.zoom.us/meeting/register/iqjp8biiQZ6mbg_ifkqw_w)

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

**使用言語: 日本語**

Language: Japanese

**講演要旨:** オートファジーは多くの真核生物に備わっている細胞内分解システムである。オートファジーでは、細胞質の一部がオートファゴソームに取り囲まれた後にリソソームへと輸送されて分解される。酵母を用いた遺伝学的研究をブレークスルーとして、オートファジーの研究はこの約20年あまりでめざましい発展を遂げてきた。オートファジーの分子メカニズムの多くが解明され、オートファジーの生理的役割には飢餓適応だけではなく、初期胚発生や細胞内の品質管理・浄化にも重要であることがわかった。さらに、ヒト疾患との関連も注目されている。セミナーでは、最近取り組んでいるオートファジーのメカニズム（特に後期）、オートファジーの新規定量方法、水晶体におけるオートファジーに依存しない大規模オルガネラ分解のしくみなどについて紹介したい。

**担当者連絡先:**

- ・講演内容に関して：佐野 裕美（精神・神経病態解明センター 内線：9379 メール：[hiromi.sano@fujita-hu.ac.jp](mailto:hiromi.sano@fujita-hu.ac.jp)）
- ・その他：鶴田 未奈子・池田 彩乃（研究支援部 研究支援課 内線：2641 メール：[icbs@fujita-hu.ac.jp](mailto:icbs@fujita-hu.ac.jp)）